



みやぎ  
ゼロカーボン  
チャレンジ  
2050  
NOW OR NEVER!

# みやぎ環境税

みやぎの豊かな環境を守り  
次の世代へ引き継いでいこう

令和4年度事業の概要とその成果を紹介します

宮城の豊かな環境を適切に保全し、次の世代へ引き継いでいくために、平成23年4月から「みやぎ環境税」を導入し、喫緊の環境課題の解決に向けてさまざまな取り組みを行っています。昨年度は「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 NOW OR NEVER! 今しかない!」のスローガンの下、新みやぎグリーン戦略プランに基づく次の5つの視点から、55事業を実施しました。

## 令和4年度事業の概要

### 視点1 脱炭素社会の推進 14事業 / 7億8643万円

家庭や事業所における二酸化炭素の削減

- みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業【環境政策課】 / 2億9614万円  
事業所の再エネ・省エネの設備導入や研究開発に対する補助
- スマートエネルギー住宅普及促進事業【再生可能エネルギー室】 / 3億3762万円  
住宅の太陽光発電システムなどの設備導入や省エネ改修への補助



再エネ・省エネ設備と県産材による「ZEB」\*  
※年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物

### 視点2 森林の保全および機能強化 13事業 / 5億7251万円

二酸化炭素の吸収など多面的機能を持つ森林や里山の管理・保全と森林資源の活用

- チャレンジみやぎ500万本造林事業【森林整備課】 / 1億1216万円  
花粉発生源対策の推進 / 低コスト再造林への補助
- 県産材利用サステナブル住宅普及促進事業【林業振興課】 / 2億5956万円  
県産材を使用した木造住宅の新築・リフォームへの補助



少花粉スギ苗木増産による植替えの推進

### 視点3 気候変動の影響への適応 8事業 / 2953万円

気温や海水温の上昇など、気候変動の影響によって生じる被害の回避・軽減

- 海水温上昇に対応した持続的養殖探索事業【水産業基盤整備課】 / 340万円  
高水温環境に適応可能な海藻などの増殖試験 / ブルーカーボン\*に関する普及啓発  
※海藻などによる二酸化炭素吸収効果
- 果樹の凍霜害軽減技術の開発【農業・園芸総合研究所】 / 368万円  
温暖化の影響で生じるナシやリンゴの凍霜害を軽減する対策の検証



海藻類の保全による藻場の再生

### 視点4 生物多様性、自然・海洋環境の保全 14事業 / 9002万円

生物多様性を育む豊かな自然・海洋環境の保全・再生

- 野生鳥獣適正保護管理事業【自然保護課】 / 1257万円  
生息域拡大が著しいニホンジカ・イノシシの捕獲による適正管理 / 担い手確保に向けたハンター養成講座の実施
- 湿地環境保全・利活用事業【自然保護課】 / 2519万円  
伊豆沼・内沼の自然再生や、水生植物園の整備などを通じたワイズユース\*の推進  
※湿地から得られる恵みを持続可能な形で利用すること



水生植物園における環境学習

### 視点5 地域循環共生圏形成のための人材の充実 5事業 / 1095万円

地域循環共生圏\*の形成に向けた人材の育成や環境教育の充実  
※地域資源を最大限活用しながら、自立・分散型社会の創造を目指す考え方

- 児童・生徒のための環境教育推進事業【環境政策課】 / 142万円  
環境教育リーダーなどによる出前講座の実施
- ルルブル・エコチャレンジ事業【義務教育課】 / 178万円  
子どもの基本的な生活習慣の定着促進 / 節電などのエコ活動に関する環境教育の実施



バイオ燃料に関する出前講座

### 市町村支援 1事業 / 3億1339万円

- みやぎ環境交付金事業【環境政策課】 / 3億1339万円  
市町村が行う地域の環境課題の解決に向けた事業への支援

### 地球温暖化対策の成果

1万6585世帯分の二酸化炭素を削減しました

家庭用の太陽光発電システムやエネファーム(燃料電池)の導入、既存住宅の断熱改修、事業者の再エネ・省エネ設備の導入などによる創エネ・省エネ効果と、森林整備による吸収効果により、6万1910トンの二酸化炭素を削減しました。これは、平均的な家庭換算で、県全体の合計世帯数の約2%に相当する1万6585世帯分の排出量とおおむね同じです。

### 地球温暖化対策以外の成果

●降雨による山崩れの防止など、森林の働きを高めるため、69haの再造林や125haの間伐などの森林整備を実施しました。



間伐による森林の保全



ハンターによるニホンジカの捕獲

●地域の生態系への影響や農林業被害を防ぐため、増えすぎたニホンジカやイノシシを3303頭捕獲しました。

●県内69の小学校で環境に関する出前講座を実施しました。

### 「環境保全と子育て」の一体的推進

県は、みやぎ環境税を活用し、喫緊の環境課題の解決に取り組むだけでなく、子育てしやすい環境づくりにも取り組んでいます。ここでは、令和4年度から新たに開始した「視点2 森林の保全および機能強化」の一つ、「みやぎ材イノベーション創出事業」について紹介します。

### 県産材による「置き型授乳室」

県産材の利用拡大による森林の保全と子育て世帯が安心して出かけやすい環境づくりを推進するため、県産材を利用した「置き型授乳室」を製作し、県内6施設に設置しました。工事が不要であることや木材の温かみのあるデザインなどが特徴です。

### 設置費用に対する補助を開始

令和5年度には、さらなる設置促進のため、県内事業者が置き型授乳室を設置する際の費用を一部助成する補助事業を開始しました。県産材を一定以上使用した置き型授乳室を設置する場合には、補助が上乗せされます。

事業者の皆さんには、置き型授乳室を実際にご覧いただき、設置についてぜひ検討ください。

補助事業の詳細は、ホームページをご覧ください。



### 基金の残高

みやぎ環境税は、課税目的に沿った事業にのみ使用し、その使い道を明らかにするため、「環境創造基金」に積み立てて管理しています。

令和4年度の基金の残高は、令和5年度以降の事業に引き続き活用していきます。

### 令和4年度の環境創造基金の収支残高

項目	金額
令和3年度末の残高①	8億8486万円
令和4年度収入(税込・運用など)②	17億7918万円
令和4年度支出③	18億283万円
令和4年度末の残高①+(②-③)	8億6122万円

※1万円未満は四捨五入

令和5年度  
みやぎゼロカーボン  
アワード  
候補者募集

8/14(月) ▶ 11/30(木)

詳しくはホームページをご覧ください

みやぎ環境税の仕組みに関すること  
税務課  
022(2)11-2323

みやぎ環境税の使い道に関すること  
環境政策課  
022(2)11-2661